

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	郭 紅霞								
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、グループワーク	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「暮らしと経済」、「経済学」の履修後の受講が望ましい。								
7. 講義概要	<p>金融論の場合は、入門であっても、講師によって扱う内容が様々に異なっている。それだけ金融という現象が幅広い経済分野にまたがっているからである。本講義は、金融論の基礎について体系的・包括的に全体像を学ぶだけでなく、そうした知識・理論を用いて、基礎的な個人の金融行動選択の方法を学ぶことに特徴がある。予備知識が少ない学生でも理解できるようになるべく平易に解説する。</p> <p>前半では、金融論の基礎知識・理論として、金融の役割、金融の方法、金融取引を行う場である金融市場、貨幣、金融機関、金融政策を解説する。後半は、個々の経済主体の意思決定に必要な基礎知識として、お金を融通することの対価である利子率、家計や企業等の金融行動に関する基本的な理論や方法を解説する。</p> <p>講義の進行方法については、受講者の理解を深めるため項目ごとに問題演習を行う。また課題として提出するレポートをもとに、ケーススタディーやディスカッションを行い、理解を深める。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。</li> <li>金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。</li> <li>預金や株式、社債などの金融商品の取引や、その結果である利益と損失の発生を理解し、説明できるようになる。</li> <li>家計や個人の金融行動の選択に関する考え方と方法を習得し、日常生活で実践できるようになる。</li> <li>金融の理論や方法を企業や社会福祉関連施設等の運営・管理において応用できるようになる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内容と関連したレポートを課す。								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 平田潤『プレステップ金融学<第2版>』弘文堂、2018年								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>テキストの輪読を通じて、金融論の基礎知識が理解できているか。</li> <li>(中間) レポート課題に対して的確に検討し、説明できるようになっているか。</li> <li>期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の 60%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の 10%	2. (中間) レポート	総合点の 30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 60%
1. 授業への積極的参加	総合点の 10%								
2. (中間) レポート	総合点の 30%								
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の 60%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>(ZOOM 授業の場合) 授業中はビデオおよびカメラを ON にすること。 特段の理由なくビデオを ON にせず、かつ教員の呼びかけにマイク等で反応しない学生は欠席扱いとする。 (対面授業の場合) 授業中にスマホ操作、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせる等、担当教員の厳重な指導下におく。</li> <li>主体的に授業に参加し、金融の基礎的な理論と現状を学び、われわれの生活と金融のさまざまな問題について漠然とではなく論理的に考える力を身につけるよう心掛けていただきたい。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	授業中に連絡する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション／序章 なぜ金融を学ぶのか？	事前学習	テキスト pp. 6～11 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第2回	第1章 ビジネスに不可欠な「金融」	事前学習	テキスト pp. 12～22 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第3回	第2章 金融の基本的な働き	事前学習	テキスト pp. 23～33 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第4回	第3章 「金融システム」と「金融市場」	事前学習	テキスト pp. 34～43 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第5回	第4章 重要なリスクマネジメント	事前学習	テキスト pp. 44～55 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第6回	第5章 金融機関の種類と機能①IT時代の金融と銀行	事前学習	テキスト pp. 56～68 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第7回	第6章 金融機関の種類と機能② 証券会社・ノンバンク・ファンドなど	事前学習	テキスト pp. 69～80 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第8回	第7章 家計と金融①預貯金と債券	事前学習	テキスト pp. 81～92 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第9回	第8章 家計と金融②株式と外貨資産	事前学習	テキスト pp. 93～103 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						

第10回	第9章 家計と金融③ ファンド型金融商品の「光」と「陰」	事前学習	テキスト pp. 104～114 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第11回	第10章 金業と金融①資本調達と資本コスト	事前学習	テキスト pp. 115～124 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第12回	第11章 金業と金融②銀行の活用法	事前学習	テキスト pp. 125～135 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第13回	第12章 金融政策のしくみと役割	事前学習	テキスト pp. 136～146 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第14回	第13章 「金融危機」はどうすれば防げるか？	事前学習	テキスト pp. 147～154 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第15回	総括	事前学習	これまでの授業内容を整理しておく。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
期末試験			